

八王子消化器病院ニュース

第43号

医療法人財団 中山会

八王子消化器病院

消化器病専門医療機関・東京女子医大関連病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒192-0903 東京都八王子市万町 177-3

TEL: 042-626-5111

www.八王子消化器病院.com

制作 (株)教育広報社

おおるり

HACHIOJI DIGESTIVE DISEASE HOSPITAL NEWS



安全で安心な医療のために

八王子消化器病院 理事長 鈴木 衛

梅雨の季節となりました。今年も例年のようにシトシトと長雨が降り続く梅雨特有の天候ではなく、突然真夏のような日が続いたかと思えば、短時間に大量の雨が降り、場所によっては甚大な被害を引き起こしています。地球温暖化の影響が懸念されます。一方、社会の動きに目を転じますと、世界で唯一戦争放棄を定めた日本国憲法を時の内閣の解釈で変えようとする危険な時代を迎え、国家の安全、将来に対する不安が過ぎります。

このように社会が目まぐるしく変化するなか、私共八王子消化器病院は、子安町の旧病院以来、30年に亘り一貫して「患者様のための医療」を理念として掲げ、地域に根差した病院として皆様方の健康管理に努めると共に消化器疾患に特化した専門病院として多くの患者様を受け入れ、その役割を果たして参りました。

本稿では、当院の診療体制や考え方について述べていただきます。

前述いたしましたように当院に來られる患者様の大半は消化器(食道、胃・十二指腸、小腸、大腸、肝臓、胆のう・胆管、膵臓等)に何らかの病気をもちか、異状を訴えられる方々です。これらの病気を調べるには食事を抜いていただく必要があるため、どうしても患者様が午前中に集中します(当院

では朝食を抜いて來られた方には、当日に可能な限りの検査を行っております。一日平均250名の患者様のうち約80%が午前中に来院され診察・検査を受けられるため混雑を来し、待ち時間を含め皆様方に大変なご不自由をおかけしているのが実情です。

また、検査結果の説明では、一般的には後日、再入院していただく病院が多いなか、当院では患者様に何度も足をお運びいただく不向き、そして何よりも早く結果をお知らせし、ご安心いただくよう同日中に検査結果をお知らせしております。これにより結果的には、1日に二度診察を受けていただくようになり、待ち時間が長びくということはありません。当日にご予定があり、時間が無いという方には日を改めてご説明をしたり、当日の診察医に代わって待ち時間の少ない医師に説明をお受けいただくことも可能です。

また、最近では待ち時間短縮の一環として一部の医師で早朝外来(8時診察開始)を行うなどの新しい試みを始めております。次に当院で行っている代表的検査のひとつである内視鏡検査について触れてみます。同検査は、早期がんの発見や早期発見による身体に負担の少ない内視鏡的処置・治療に重要な役割を果たしています。そのために当院では、内視鏡検査技術の研鑽を積ん

だべテラン常勤医師に加え、同検査のスペシャリストの非常勤医師が関わり、年間12,000件余の診療実績を挙げております。また、内視鏡検査が初めての方や過去に同検査で大変な思いをされた方には、ご希望により鎮静剤を使い無意識のうちに検査を受けられたり、咽頭反射の強い方には経鼻内視鏡を用いるなどして楽に検査を受けられるよう努めております。

内視鏡検査以外では、身体への負担がほとんどなく、かつ多くの診療情報が得られる超音波(エコー)検査も内視鏡検査と同数が行われております。また、放射線領域では、特にバリウムによる大腸検査(注腸検査)が、その検査数および画質の高さでは全国トップクラスを誇り、地域の医療機関はもとより放射線技師会においても高い評価を得ております。このような検査が安全かつ高いレベルで行われることにより、今日の八王子消化器病院の医療が支え、保たれております。

一方、入院患者様につきましては、全患者様を対象に毎日2回(朝は8時、夕は19時前後)の回診を主治医を中心に受持医や看護師が行っております。また、当院では専門外来や内視鏡検査部門で一部、非常勤医師が勤務しておりますが、全体的には常勤の医師が年間を通して夜間・休日帯も在勤しております。当院の規模でこの勤務体制を維持するのは大変な困難さを伴い医師の仕事量の増加に加え、過大な責任をも負わせることにつながります。しかしながら病院理念である「患者様のための医療」と診療の基本方針である「安全で安心な医療の提供」の実現と維持向上に絶対不可欠なものとして全職員が一致団結して現在の体制を堅持して参ります。

もっと知りたい!
身体 **治療**
病気 **のコト**

ヘリコバクター・ピロリ菌と慢性胃炎、発がんについて

八王子消化器病院 消化器内科 医長
森下 慶一

皆さんはヘリコバクター・ピロリ菌（ピロリ菌）をご存知でしょうか。

これは胃の出口（ピロルス）に見つかったらせん状（ヘリカル）の桿菌（バクター）という意味で1983年に発見されました。

それ以前は胃の中は胃酸による強い酸性状態にあるために菌が住めないと考えられていたが、胃の粘膜に付着して生息できる菌が見つかりました。これがピロリ菌です。

1994年にWHOはピロリ菌は「確実な発がん因子」と認定しました。

ピロリ菌は複数の病原因子を持つっており、例えばピロリ菌が分泌するウレアーゼがアンモニアを作ることによって胃の粘膜が障害をうけます。感染が長く続くと、胃の粘膜が薄くやせる「萎縮」が進行し、一部は「腸上皮化生」となり、胃がんを起しやすくなる慢性胃炎となります。これをピロリ菌感染胃炎と呼びます。

この状態でも胃液の分泌が低下し消化不良、食欲不振や、胃もたれの症状があらわれます。

これまででもピロリ菌感染胃炎が発がんに関係することは示唆されていますが、十分な症例数の報告がなく、胃・

十二指腸潰瘍、早期胃癌の内視鏡的治療後胃などが保険適用とされピロリ菌感染胃炎は適用されませんでした。

このため Japan Gastric Study Group という大学や病院にとられない多施設の治療が行われた544例を対象に無作為に割付にて除菌、非除菌に分け、胃癌の異所性再発の有無を観察し、除菌群が胃癌の発生を有意に抑制したことが明らかになりました。

2008年、この報告の結果がLancetという著名な海外の医学誌に掲載され、世界中から評価をうけました。

この結果、除菌により胃癌の発生は3分の1以下に抑制されること、萎縮性胃炎や腸上皮化生の存在や早期胃癌を発生後も効果が認められることが明らかになり、胃癌の大半はピロリ菌の感染により発症する「感染症」であることが改めて確認され、除菌による予防効果も確認された。これにより2013年2月にピロリ菌感染胃炎にまで除菌の保険適用が拡がりました。

しかし皆さん全てが感染の有無を調べられるわけではありません。感染を知るためには上部内視鏡検査（胃カメラ）で

のピロリ菌感染胃炎の診断が必要で、診断後に6種類の検査法でピロリ菌感染の有無を調べます。

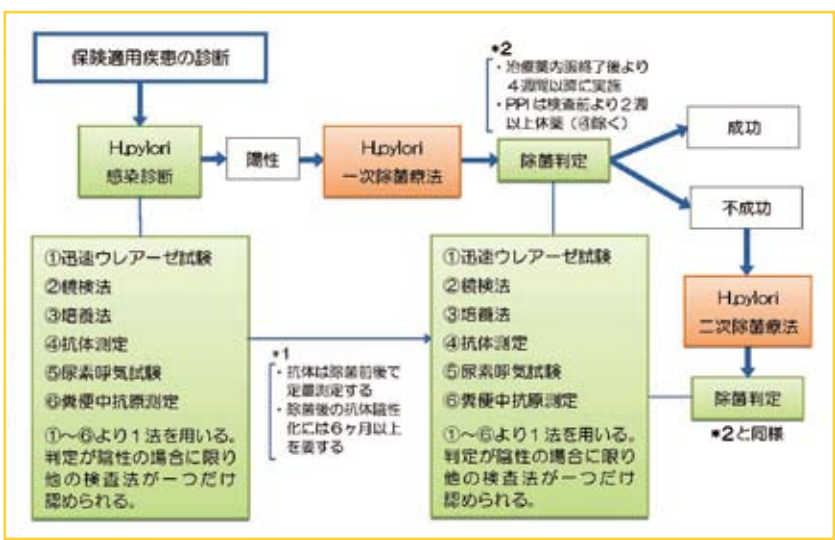
検査はそれぞれ長所、短所があるために主治医と相談しての検査が必要です。感染がわかった場合には除菌治療が必要となります。

ピロリ菌の除菌療法は、2種類の抗菌薬と1種類の制酸剤の合計3剤を7日間服用、正しく服用すれば除菌療法は約70-80%の確率で成功します。服用後に4週間以上経過してから、ピロリ菌の除菌判定をしピロリ菌が残っていないければ除菌成功です。飲み忘れたりすると、除菌がうまくいかず、治療薬に耐性をもったピロリ菌があらわれて、薬が効かなくなることがあります。不成功の場合は薬を変更し2次除菌療法を行います。2回目の除菌療法も、正しい服薬で約80%を超える確率で成功するため、2回の除菌率は95%を超えます。

ピロリ菌の除菌療法が成功すると、ピロリ菌が関係している様々な病気のリスクは下がりますが、ゼロにはなりません。このため定期的な検査は必要になります。

食事でも大事な予防です。面白いことに米国に移住した日系1世の胃がん発生率は、本国に比べて25%少なく、日系2世になると50%も減少することが知られています。これは胃がんの発生には遺伝要因よりも環境要因のほうが重

要という事です。別の研究ではピロリ菌感染者で萎縮性胃炎のある方では食塩を多く摂取している人ほど胃がんの発生が多かったとされます。またWHOは「野菜・果物をほぼ確実に胃がんのリスクを軽減するもの」としています。野菜や果物は、ビタミンCなど発がんを抑制する成分を含みます。ビタミンCは、ピロリ菌感染者では減少しており十分な胃がん予防効果が発揮できません。まずはピロリ菌を除菌し、野菜や果物をとり、塩分を控えることで、生活習慣病や胃がんの予防対策を行いましょ。



図：保険適用による H.pylori の診断と治療の流れ

少しむかしの 病院界限と医の歴史

梶田町在住

佐藤 広さん



43

八王子市子安町三丁目の高台に、中山記念胃腸科病院としてあったころから、私は八王子消化器病院のお世話になってい

る。そんなことから、まず子安町周辺のことから触れてみよう。市街を見下すところに病院や八王子医療刑務所があつて、そこは少し他の地域とは異なる空間に感じていた。その高台は小比企丘陵の東端にあたり、桑畑などのあつた上原(うへつばら)、刑務所のある中原(なかつばら)、街に通じる下原(したつばら)と呼ばれていた。中山記念胃腸科病院があつた辺りは井出山という山で、近くに水田の水源ともなる湧水があつたとい

う。(『町会五十周年記念 町三丁目』平成二年)

る。八王子医療刑務所は、明治一一年に元横山に設置された神奈川県監獄八王子支署がはじまりで、その後の変遷を経て明治二六年の大火後に現在地に移転した。東日本では唯一の医療刑務所で、帝銀事件の平沢貞道が最期を迎えたところである。仙台から平沢を追つて来た知人の記者が、テレビで報じていたのを覚えてい

る。この八王子医療刑務所は地域との繋がりが深かったが、数年後には他のまちな新施設に集約され、約一四〇年の幕を閉じるとのことである。明治以降の旧市街地の人口増加に対応した都市整備で、市斎場、市営墓地、刑務所などの施設が、明治から大正年間に市街地に近い小比企丘陵につくられた。近年は刑務所の移転後の跡地利用が話題になるなど、新し

い街の姿を創造する時期に来てい

る。万町の現在地に八王子消化器病院が移転したのも、現代のま

ちの事情を反映しているのであろう。八王子消化器病院の移転後

は、専門病院としてのミッションが明確に示され、経営管理の徹底したところに大いに関心を

持つようになった。番号による患者管理、電子化、掲示物、朝の職員

の挨拶など、経営努力を推察することができ

る。質の高いロビーコンサート、患者友会の活動、患者も含めた関係者を

招いての周年記念行事の開催、日々の駐車場管理からも、人と地域を大切に

する経営理念をうかがうことができる。もち

ろん、医療の専門性を絶えず研鑽されて最先端の優れたものを提供して

いたきたい。幸い私はまだ大きな病を得ていないが、いつも検査をして

いただいで一安心、地域での専門病院の存在は心強い。さて、八王子消化器病院付近

の医に関する歴史に触れてみよう。意外な歴史が身近なところ

に残されている。万町の観音寺には、八王子の医家として著名

な秋山家の墓がある。秋山義方(一七七九〜一八五七)は江戸

で蘭方を学んだ子安の眼科医として著名で、親交のあつた高野

長英(一八〇四〜五〇)が秋山家を訪ねている。義方の長男の

佐蔵(一八一六〜八七)は眼科のほかに内科も扱い、全国的

にも注目される活版印刷で医学書の翻訳出版を幕末に行つてい

る。佐蔵の六男の練造(一八七二〜一九四三)は軍医総監をつとめ、

やはり軍医総監を経験した森鷗外との親交があつた。また、江戸時代に八王子では

入れ歯が行われていた。木製の歯肉部などをつくり、それに個々の歯をつ

くつて入れていく。寺町の須田家は江戸時代に飯能から八王子に出

て、人参五蔵円という菓や種物の販売、入れ歯の細工や抜歯などを行つて

いた。世界に誇れる江戸時代の歯科医療が八王子には存在していた。雑駁に、八王子消化器病院の移転前の旧地付近のこと、現在

【八王子百年略年表】

- 大正六年(一九一七) 八王子町が市制を施行し、八王子市となる
- 昭和二年(一九二七) 都市計画法適用が決定(区域は由井横山、元八王子、小宮村を含む) 大正天皇の御大葬 多摩陵が造営される
- 昭和三年(一九二八) 上水道通水開始(明治三〇年の八王子大火以来の懸案・防火)
- 昭和六年(一九四一) 小宮町(昭和九年に村から町となる)と合併
- 昭和二十年(一九四五) 米軍による八王子空襲 四五〇名余の方々が亡くなる
- 昭和三十年(一九五五) 横山村、元八王子村、恩方村、川口村、由井村、加住村を合併
- 昭和四四年(一九五九) 浅川町(昭和二年まで浅川村)を合併
- 昭和三九年(一九六四) 由木村を合併 東京オリンピックの自転車競技を八王子市で開催
- 平成二年(二〇一七) 八王子市、市制百年

生理学・超音波検査科の

ご紹介

生理学・超音波検査科 科長

富永 晋

生理学・超音波検査科では、超音波（エコー）検査を始めとして心電図検査、肺機能検査、眼底検査、聴力・視力検査を実施しています。これらの検査は、生理機能検査といわれており、身体の生理的反応や機能をグラフ化・画像化して診断する検査であり、内視鏡検査や放射線検査に比べて患者様の身体的負担が少ないことが特徴です。

それでは、当科の主要な検査であります超音波検査についてご説明させていただきます。同検査では、超音波という人間の耳には聞こえない高い周波数（1〜30メガヘルツ（MHz））の音波を体の外から当て、その反射音波を電気信号に変換し、体内の状態を映像化します。音波であるためレントゲン検査のように放射線被ばくの心配が無く、かつ患者様の苦痛もありません。その安全性は、産婦人科で胎児の診察に用いられていることからもお分かりいただけると思います。一方、同検査から得られる情報は豊富であることから、当院では積極的に取り入れています。観察部位として、腹腔内検査では、肝臓、脾臓、胆嚢、腎臓、脾臓等の実質臓器を中心に大動脈、リンパ節や胃などの消化管も観察します。骨盤腔内検査では、膀胱、前立腺、婦人科系の臓器を中心に大腸、虫垂などの消化管も観察します。この他に甲状腺、乳腺、皮下などの検査をすることもあります。

以下、超音波検査のメリット、デメリットについて説明いたします。

（メリット）

- ・ 身体への負担が少なく、体内の状態を調べることができる。
- ・ 検査装置が小型かつ移動可能であることから、場所を選ばずに検査を行える。
- ・ リアルタイムに画像が得られ、検査結果をその場で判定できる。
- ・ 身体のままさまざまな方向から超音波を当て、画像を映し出すことができる。
- ・ 超音波をガイドとして他の検査や治療を行うことができる。

（デメリット）

- ・ 検査を行う者の個人の技量による検査の精度・質の格差が大きい。
- ・ 検査で見られる範囲が限られるため、肝臓の大きな臓器では全体像を一画面上に映し出せない。
- ・ 映像が肥満や消化管内のガスに影響され易い。
- ・ 患者様が一面毎に一定時間、息を止めないと観察しづらい。

さて、当院の超音波検査には他院とは異なる点がいくつかありますがお気づきでしょうか。ひとつ目として、一般的に同検査はベッドに寝て行いますが、当院では電動椅子に座っていただき検査を行っていることです。なぜ椅子なのでしょうか。それは、椅子に座って検査を行うほうが観察しやすい部位もあるためです。また、検査中は検査者が椅子を操作しますので、患者様は起き上がりたり、横を向いたり動作が少なく済み、痛みにより起き上がれない場合でも、安楽に検査を受けていただくことが可能になります。ちなみに、この椅子をどこかでご覧になったことはありませんでしょうか。実は、この椅子は美容室で使われている物と同じなのです。座っていて心地よく、かつ機能的な椅子はないかと思案していたときに検査医の発案により導入さ

れ、今日に至っています。

もうひとつは、超音波検査に際し必要に応じて少量の水（他の検査に差し支えない量）を飲んでいただくことです。初めて検査をお受けになる方は「水を飲んで良いですか？」と質問されますが、水を飲むことで胃内のガスが圧迫され、脾臓（身体の背中側に位置するため消化管内のガスと重なり、比較的観察しづらい臓器であるといわれています）を観察しやすくなります。

このように、当科では医師の診断に際し、より精度の高い情報提供をすべく消化器疾患の専門病院ならではの創意工夫を凝らして検査を行っています。今後も患者様に安全・安心そして身体的負担の少ない検査を受けていただけるように専門知識・技術の向上に努めると共に、少しでも待ち時間を短縮する試みや接遇の更なる改善にも努めてまいります。



想うこと

五色のたんざく わたしがかいた
お星さま きらきら 空からみてる
たなばたさま



歌詞にある五色とは、中国古代の学説「五行」に由来する青・赤・黄・白・黒色を指し、人々は七夕にこの色の糸を吊るして、専ら芸事の上達を

願ったと言われます。一方、願いを込めた五色の短冊などを笹竹に飾りつけるのは、日本特有の風習のようですが、願掛けの想いは同じということでしょうか。当院では毎年この時季には、織姫様よろしく看護師達が患者様方と病気の回復などを願う言葉を短冊に託して、七夕飾りに勤しんでおります。 理事 久野久夫